

第五十六回
帝國議會
貴族院

蠶絲業法中改正法律案外一件特別委員會議事速記録第二號

昭和四年三月七日(木曜日)午前十時四十分開會

○委員長(今井五介君) 開會イタシマス、昨日御缺席ノ方ガ御アリデシテ、其模様ヲ御承知ナイ方ガアルト思ヒマスガ、兩案ニ付テ國務大臣ノ御説明ガアリマシテ、尙ホ政府委員ノ御懇切ナル御説明モアリ、其後ニ委員ノ御質問ガアリマシテ、午前中デ散會イタシマシタ、ソレデ昨日モ此蠶絲業法中改正法律案ヨリ御質問ガアツタ次第デアリマス、本日モ之ニ付テ：

○坂田貞君 此委員會ニハ兩案出テ居リマスガ、ドチラカ片一方カラ先ニ片付ケテ行タラドウデゴザイマスカ、餘リ關聯シタ案デハナイヤウニチヨット見受ケマスガ：

○委員長(今井五介君) 唯今申上ダタヤウニ、此蠶絲業法中改正法律案ノ方カラ片付テ行クコトニナツテ居リマス、御尋ノ點ガアリマシタナラバドウゾ：

○尾崎元次郎君 昨日缺席イタシマシタカラ政府委員ノ御説明ヲ伺フコトガ出來マセヌデシタガ、大體此改正案ニ於キマシテハ從來ノ案トノ違ヒノ所ヲチヨット御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 昨日詳細ニ其點

ハ申上ダタノデアリマス、御聽キノ方モゴザイマセウト思ヒマスカラ、極ク綱領ダケ申上ダマス、今度ノ改正ノ要點ハ、原蠶種製造ニ付テ、取締上ノ簡便ヲ圖ツタコト云フコトガ一點デゴザイマス、其内容ヲ申上ダマスト云フト、三ツバカリニ分レマス、即チ飼育ヲ致シマスル室ニ對シテ制限ガ現行法ニハ有ルノデアリマス、ソレニ改正ヲ致シマシテ、緩和ヲ致シマシタ、ソレカラ第二ガ一蛾別ノ飼育ノ強制ト云フコトヲ原蠶種ニ對シテ致シマシタノデアリマスルガ、其強制ヲ廢止イタシマシテ、一蛾別飼育ハシナクテモ宜シイト云フコトニ致シタノデアリマス、第三ガ原蠶種用ノ蠶兒ノ検査、即チ蠶ノ時代ニ原蠶種ニ付テハ、一應ノ検査ヲシテ居タノデアリマス、ソレヲ廢止ヲ致シマシタ、此三ツノ點ノ改正ニ依リマシテ、原蠶種製造ニ付キマシテノ簡便ヲ圖ルト云フノガ一點、第一ノ事項デアリマス、ソレカラ第二ガ普通蠶種ノ製造ニ用キマスル所ノ蠶ノ検査ト云フモノガ、今マデ無カッタノデゴザイマスルガ、此蠶検査ヲ普通蠶種ニ付キマシテ行フコトニ改正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ第三ノ事項ガ行政官廳ニ於テ適當デアルト認メラレル蠶種ノ製造者

又ハ蠶種製造者ノ同業組合、其聯合會ト云フヤウナモノニ對シマシテ、現今行ナツテ居リマスル官行ノ検査ニ代リマシテ、自ラ蠶種検査ヲ行ヒ得ル、所謂自己検査ノ途ヲ開クコトガ出來ルヤウニ致シタコトガ第三ノ事項デゴザイマス、ソレカラ第四ノ事項ハ原蠶種検査ヲ受ケタモノヲ：其検査ヲ受ケル當時ニハ原蠶種ニ充テルト云フ見込ヲ以テ受ケタモノヲ、原蠶種ニ用キナイ場合ガアツタノデアリマス、其場合ハ現行法デハ検査手数料ト云フモノヲ取ツテ居タノデアリマス、ソレヲ廢止イタシマシテ取ラヌコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ第五ノ事項ハ主務大臣又ハ地方長官ガ、蠶ノ乾燥及蠶絲類ノ賣買ニ關シマシテ、取締上必要ヲ認メタ場合ニ於テハ、命令ヲ下スコトガ出來ルヤウニ致シタノデアリマス、ソレカラ第六ノ事項ト致シマシテハ本蠶絲業法ノ施行ノ除外地域ニ付キマシテノ規定ヲ改正イタシマシテ、必要ニ應ジテ施行地域ノ擴張ヲ命令ヲ以テ定メ得ルヤウニ致シマシタノデアリマス、是ダケノ六ツノ事項ガ主ナル事項デアリマシテ、ソレニ關聯ヲ致シマシテ、例ヘバ蠶種ノ自己検査ヲ許スト云フ以上ハ、之ニ對スル監督ヲ嚴重ニシナクテハイケマ

セヌカラ、監督規定或ハ之ニ對シマスル違反ノ罰則ヲ從來ヨリモ重クシナケレバイケマセヌカラ、一方ニ於テソレノ罰則ノ擴張ヲ致シマシタ規定ヲ設ケマシタ、其外引用ノ條文ノ整理デアリマススト云フヤウナコトヲ致シマシタノガ本改正案デゴザイマス

○田中一馬君 少シ御尋イタシマス、私ハ素人デ一向何モ分リマセヌケレドモ、併シ矢張り分ラヌ所ヲ承ハルダケハ承ハツテ置キマセヌト何デゴザイマスカラ、伺ヒマスガ、第一ニ原蠶種ノ方デ蠶種ノ検査ヲ御ヤリニナル、ソレカラ普通蠶種ノ方デ検査ヲ新ニ御ヤリニナルト云フノガ、何カ一方ハ寬デ一方ハ嚴ニナツタヤウニ、素人デハ考ヘラレマスガ、何カ矛盾シテ居ルヤウニモ思ハレマスガ、其點ハ如何デスカ、ソレカラ今一ツハ此官デ御ヤリニナル検査ヲ、今度ハ組合トカ或ハ大キナ製造家ニ御許シニナルト云フコトデスカ、組合ハ免モ角ト致シマシテ、大キナ蠶種製造者ガ自分デ自分ノモノヲ検査スルト云フコトハ、或ハ弊害ガ起リハシナイカト云フコトガ素人デハ考ヘラレマス、併シ此處マデモ進ンデ居ルトスレバ宜シイデゴザイマセウガ、併シ折角法律デ官行検査ト云フノガアルノヲ、態々之ヲ

止メルコトノ必要ガアルノデゴザイマセウカ、或ハソレヲヤッテ居ル爲ニ、非常ニ費用ガ掛カル爲ニ、寧ロ民間ヘ移シタ方ガ便利ダト御考ヘニナルノデゴザイマセウカ、止メナケレバナラヌ必要ガアルノデスカ、止メナクテモ宜イガ、止メテモ宜イト云フ程度デゴザイマセウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ衆議院ノ方ノチヨット何ヲ拜見イタシマスト、何カ今後命令ヲ以テ、大キナ蠶種製造者ノミニ限ッテ、アトノ者ハ廢業サスト云フヤウナ御意見ガアルト云フヤウナコトガ書イテゴザイマス、斯ウ云フコトノ善シ惡シハ存ジマセヌガ、斯ウ云フコトハ矢張り法律デ御決メニナルベキモノデハゴザイマスマイカト考ヘマス、ソレカラ中ニハ隨分小サイ者ヲ壓迫スルヤウナ風ニ考ヘテ居ル人モアルヤウニ見エマステスガ、斯ウ云フ點ハ如何デゴザイマセウカ、其三點ダケヲチヨット承ハリタイト思ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 初メノ原蠶種ニ付テ蠶兒検査ヲ廢止ヲ致シマシタ、是ハ原蠶種ハ只今ノ所デ、蠶種製造家ガ自分ノ所デ普通蠶種ヲ造リマス爲ニ用キマスル原ノ蠶種デゴザイマス、是ハ段々純粹ノ種類ヲ用ウルト云フコトノ必要ガ能ク分リマシテ、當業者自體ガ非常ニ注意ヲ以テ純粹ノモノヲ飼ッテ來テ居リマスヤウニナリマシタ、從ヒマシテ蠶兒時代ニ於テ検査ヲ致シ

マスル目的ガ、一ツニハ蠶兒ノ體質ノ健康デ病毒ノナイモノト云フコトヲ見届ケル必要モアリマスル、モウ一ツノ理由ハ種類ノ純粹ヲ維持スルト云フコトノ必要ガアルノデアリマス、ソレガ蠶種製造ガ段々進ミマシタ今日ニナリマシテハ、蠶種製造家自體ガ原蠶種ガ非常ニ純粹ニシナケレバナラヌト云フコトガ能ク分リマシタノデ、ソレノ虞レガ段々少ナクナリマシタト云フヤウナ所カラ、是ハ必要ヲ認メナクナリマシタノデ、廢止ヲ致シマスコトニ致シマシタ、ソレカラ普通蠶種ノ方ノ只今マデハ母蛾検査ヲヤッテ居タノヲ、母蛾検査ダケデナクシテ、繭ノ検査ヲヤルト云フコトヲ今回附加ヘマシタノハ、母蛾検査ノ方ハ主ニ病毒ノ關係カラ嚴重ニ検査ヲ致シテ居ル、是ハ存置スル必要ガアリマスカラ、其儘ニ存置スルハ、併シソレダケデナクシテ繭ノ検査ヲスルコトハ此ハ只今マデハ原蠶種ダケデアッタノデスガ、今度ハ普通蠶種ニモ繭ノ検査ヲスル、斯ウ云フコトニ致シマスト、ソレハ病毒關係ヲ離レマシテ、種類ノ混雜ト云フコトヲ防ク必要ガ此方ニハアリマス、御承知ノ通り普通蠶種ニナリマスト、絲繭ヲ掃立テル原ニナリマス、デ現今ニ於テバ九割九分マデガ所謂一代蠶種デ間ノ子ノ種類デアッタノデアリマス、其爲ニ色ニ品種ノ混雜ト云フヤウナコトガ弊害トシテ出テ參ッ

タノデアリマス、其爲ニ普通蠶種製造用ノ繭検査ト云フモノガ必要ニナッテ參ッタノデアリマス、尙ホ細カイ技術上ノ實例等ガ若シ必要デゴザイマスレバ、蠶業課長ガ見エテ居リマスカラ、御許可ヲ得マシテ詳シク申上ゲマス、ソレカラ次ニ自己検査ノコトデゴザイマス、此點ノ御質問ハ御尤ナ御疑問ト思ヒマス、是ハ實ハ官行検査ヲ止メテシマハナケレバナラヌト云フ必要ガアリマスルノデヤナイノデアリマス、前會ニモ申上ゲマシタヤウニ、四十四年ニ蠶絲業法ガ出來マシタ、若クハ其前ノ蠶病豫防法時代ノ制度、引續イテ蠶絲業法ノ改正ノ制度ト云フモノハ、惡イ病毒ノアル種ヲ農家ニ供給シナイヤウニト云フ……消極的ノ惡イモノヲ出サヌヤウニト云フ嚴重ニ検査取締デアリマス、ト云フノガ立前デアリマス、漸次ニ蠶種製造ノ業態ガ進歩ヲ致シマスルト云フト、ソレデハ物足りナイ、進ンデモット良イモノヲ積極的ニ出サセル方策ヲ講ジナクチャナラヌ、斯ウ云フコトニナリマシタ、其一ツノ方法ト致シマシテ、現金官行デヤッテ居リマスル所ノ蠶業取締所ノ検査ト云フモノ以上ノ、人的及物的ノ検査設備ヲ備ヘマスル蠶種製造家ト云フモノニハ、其自己ノ責任ニ於テ、又自己ノ商賣上ノ名譽ニ於キマシテ、優等ナルモノヲ出サセルト云フ途ヲ開イテヤル必要ガアル、斯ウ思フノデ

アリマス、其爲ニハ検査ト云フモノハ自己ノ責任デ以テ十分ニ立派ナモノヲ出スヤウニ、其検査ヲ公ニ認メテヤルノガ、良イ途デアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、御承知ノ通りニ、蠶種ノ検査ト云フモノハ外ノモノノ検査ト違ヒマシテ、出來上リノモノヲ検査スルノデハナイノデアリマス、元ノ親ヲ検査ヲシテ病毒ノナイヤウニスル、斯ウ云フノガ主ナ立テ方デアリマス、ソコデ親ノ體ノ病毒率ト出來上ッタモノノ、詰リ種ノ良シ惡シト云フモノハ、ビッタリト一致シナケレバナラヌ、是ガ官行検査デハ徹底的ニ行キマセヌノデアリマス、行カナイ理由ガアル、ソレハ一二ノ府縣デ起リマシタ例デアリマスルガ、非常ニ惡イ成績ヲ、養蠶家ガ飼ッテ見タ所ガ、呈シタト云フ場合ニ、ソレニ付テノ損害賠償ヲ訴ヘタノデアリマス、所ガ其検査ト云フモノニ付テノ證明ヲ致シタ者ハ……合格、不合格ヲ決定シタ者ハ、第三者ノ官ガヤッタノデアル、府縣ガヤッタノデアル、斯ウ云フコトニナリマス、サウスルト云フト、府縣ガヤッタコトダカラ私ニハ責任ガ無い、斯ウ蠶種製造者ガ……種紙ニ名前ヲ書イテ居ル蠶種製造家ハ申ス、所ガ縣ノ方デ調べテ見ルト云フト、ソレハ明カニ病毒率ガ無カッタモノデアル、母蛾ノ検査ニ於キマシテ、母ノ體ノ検査ニ於キマシテ……ソレデ府縣ノ方デ申シマスルニ

ハ、ソレハ往々ニシテ行ハレル無毒ノ母蛾ヲ持ッテ來テ、サウシテ多少怪シイモノノ種ト云フモノハ、別ノ腹カラ出タモノモ賣ッテシマツタ、斯ウ云フコトデ所謂スリ換ヘト云フ手段ヲ、極ク惡イ蠶種製造家ニナルトヤルノデアリマス、ソレヲヤッタシラウト云フ推測ヲセザルヲ得ナイ、其責任ノ持ッテ行キ所ガナイト云々タヤウナコトニナルノデアリマス、ソレデ官行検査ト云フモノハ、消極的ニ惡イモノヲ出スト云フコトヲ防グノニ、ソレモ尙且ツ稍、不滿ナ所ガアル、是ハ製品ノ検査ト違ヒマシテ、餘程其困難ナ點ガ蠶種ノ検査ニハアルノデアリマス、進ンデ良イモノヲ出サセルノニハ、サウ云フ際ニハ營業者ガ自己ノ責任ヲ以テ、損害ノ賠償迄モヤリマスと云フ立前ニ今度ハナルノデアリマスカラ、之ヲヤルト云フコトニスレバ、只今ノ御疑念ノヤウナ惡ルイ者ヲ出シハセヌカト云フヤウナコトハ、ナカ／＼出來ナイ、其上ニ官ノ監督ヲヤリマスルシ、サウシテ違反ニ付テノ罰則ハ、御覽ノ通りニ五百圓ノモノガ千圓マデ行クヤウニ倍加シテ居ルト云フヤウナヤリ方ニナツテ居リマスカラ、先ヅ養蠶者ノ方ガ自己検査ニナツタ爲ニ「ルーズ」ナモノガ出テ來ルト云フ虞レハ萬々ナイヤウナ手段ヲ講ジテ居リマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ一ツ附加ヘテ申上ダマスガ、

此自己検査ヲ許シマス條件ト致シマシテハ、普通蠶種ノ自己検査ニ付キマシテハ、農林大臣ガ直接ニ許可ヲスルト云フコトニ致シマシテ、ソレハ相當多量ノ蠶種製造ヲ致シマス：即チ三十万蛾以上大體ノ豫定デアリマス：製造家ト云フモノデアツテ、設備：人的設備ガ十分ニ備ハツテ居リ、而モ前三箇年ノ病毒ノ合格歩合ト云フモノガ、優等ノ成績ヲ示シテ居ルモノデナケレバ、イカヌト云ウタヤウナコトデ、嚴重ニ而モ農林省自體ガ許可ヲスルト云フコトニ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ第三ノ御質問ノ點ノ、衆議院ノ方デ蠶種製造家ト云フモノヲ段々大キイモノダケニシテ行クト云々タヤウナコトニ付テノ問題ガアツタデヤナイカト云フ御話デアリマス、是ハイカ機會ヲ得マシテ附加ヘテ御聽取リ願ヒタイト思ッテ居タ事項デアリマスカラ、此際ニ私カラ申上ダタイ、是ハ本法ノ改正案トハ直接ノ關係ハナイコトデアリマス、併ナガラ本法ノ改正ヲ致シマスと云フト、當然施行規則ノ省令ガ改正ニナリマス、其省令ノ改正ノ際ニ、蠶絲當局ト致シマシテハ、蠶種製造家ノ資格ノ向上ト云フモノヲ圖ッテ行キタイ、蠶病取締法以來、漸々ニ蠶種製造家ノ資格ノ向上ヲ圖ッテ居リマス、今度モ一時期デアルカラ、同時ニ資格條件ヲ付ケテ、サウシテ行キタイ、斯

ウ云フ考ヲ持ッテ居タ、ソレハドウ云フ條件カト申シマス、御話ノ通りニ製造ノ規模ヲ十萬蛾以上ト云フコトニ限ッテ許スト云フコトニ致シタイト云フ腹案ヲ持ッテ居タ、此腹案ハ大正十四年：十三年デシタカ：以來世間ニモ發表シテ居タノデアリマス、ソレデ蠶絲業同業組合中央會デアリマス、或ハ養蠶ヲ致シマス所ノ農家ノ組合デアル、所謂養蠶組合デアルト云フヤウナ方面デモ、相當蠶種製造家ト云フモノノ資格ハ、段々上ゲテ行ッテ貰ヒタイト云フ要求ガアツタノデアリマス、此本法案改正並ニ蠶種製造家ノ資格ヲ段々上ゲテ行クト云フコトニ付テハ、反對ノ聲ハナカッタノデアリマスガ、唯、一ツ問題ニナリマシタノハ、十萬蛾ト云フコトニ致シマシテ、新シイモノヲ制限スルノハソレデ宜シイ、併ナガラ今十萬蛾以下ヲ飼ッテ居ル者ガ直ニ止メラレルト云フコトニナツテハ苦痛デアル、而モ其數ハ製造業者ノ七割位占メテ居ル多數デヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマス、ソレハ今ヤッテ居ルモノハ直ニ止メサセルト云フ意思デヤナイ、ソレハ其人一代ト云フモノハ是ハ認メル、併シ新ニ出願シテ來ル者ハ十萬蛾以上デナクチャイカヌ、又今マデノ製造業者ガ次ノ代ニナルト云フマデニハ、十萬蛾以下ノ者ハ十萬蛾以上ニ其事業ヲ擴張スルカ、或ハオ互ニ合同ヲシテ、

一ツノ製造分場ト云フモノヲ掌ルト云フヤウナ形ニシテ、合同スルト云フ風ニ段々整理シテ行ッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意見ヲ發表イタシタノデアリマス、ソレニ對シマシテ蠶絲同業組合中央會ノ蠶絲製造部ノ決議、從テ中央會全體ノ決議トナリマシタモノモ、ソレハ是認シテ居ル、但シ相續ノ際ニ五年ノ猶豫期間ヲ認メテ貰ヒタイ、斯ウ云フ決議ニナツテ居リマス、大體ソコイラデ以テ行カウト云フ考デ居タノデアリマス、サウシタ所ガ、最近ニナリマシテ、愈、此法律ガ議會ニ出ルト、是ガ通レバ、施行規則モ改正ニナル、施行規則ガ改正ニナルト、農林省トシテハ、豫テ數年來、斯ウ云フ腹案ヲ持ッテ居ル、其腹案ト云フモノニ對シテ進ムデアラウ、サウスルト斯ウ云フ聲ガ起ッテ參リマシタ、反對々々ト云フヤウナ聲ガ衆議院ニ反響イタシタノデアリマス、ソコデ色々相談イタシタノデアリマス、相續ノ際ニ五年ノ延期ト云フコトヲ茲ニ假リニ認メマシテモ、ソレハ唯五年延ビルト云フ問題ダケデアリマシテ、矢張り其際ニナレバ問題ガ起ル、蠶絲ノ當局ガ此如何ニモ形ノ惡イ：小サナ營業者ト云フモノヲ段々整理シテ行カウト云フ考ハ、是ハ社會政策的カラ見マスと云フト、誠ニ形ノ惡イコトナンデス、又多數ノ者ガ之ヲ占メテ居ル、併ナガラソレノ製造分量ト申シマスと

ニ云フト大シタモノデハナイ、又養蠶者ノ側カラ見マスト云フト、其細カイ大勢ノ人ガ養蠶ノ傍ラ蠶種製造ヲシテ居ルト云々、タヤウナ、副業的ノ蠶種製造ト云フモノハ病毒ガアリマス、病毒率カラ言ヒマシテモ餘リ好イ成績ヲ示シテ居ラナイ、デアリマスカラ蠶種製造家トシテハ多數ノ小製造家デアリマスガ、更ニソレヨリモ餘計ノ二百万カラノ養蠶家カラ申シマス、多數ノ爲ニ少數ノ者ノ利益ト云フモノハ多少犠牲ニシテモ仕方ガナイノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス、御話ハ變リマスガ、先程モ申上ゲマシタ自己検査ヲ許ス者ハ三十万蛾以上ノモノヲ許スト云々、タヤウナコトモ、形ノ上カラ云フト、大キナモノヲ保護シ、自由ヲ許スト云フヤウナコトニナツテ、大變形ガ惡イノデアリマスガ、是モ養蠶者ノ方面カラ云フト、大キイ設備ノ良イモノダケニ許スト云フト、危険ガアル、サウ云フヤウナコトデ、兩々ドウモ大變形ガ惡イノデス、蠶絲當局ノ意見ハ他意アル譯デハアリマセヌ、大多數ノ養蠶家ノ爲ニ優良ナル蠶種ヲ出ス、惡イ蠶種ヲ少クシテ行カウ、斯ウ云フ趣旨カラ形ノ惡イ改正案ヲ、思切ッテヤラウト云フ腹案ヲ持ッテ居、タノデアリマス、併シ是ハ蠶種製造者ノ七割ヲ占メルト云フヤウナモノノ將來ノ問題ニ係ルノデアアルカラ、新ニ出願スル者ハ宜シイガ、今アルモノ

ノ將來ニ付テハ外ノ資格ヲ具備スレバ、規模ハ十万蛾デナクテモ宜イヤウニ相續ガ出來ルヤウニシテ貰ヒタイ、ト云フ御希望ガアリマシタ、社會政策上、尤モデアルト云フ風ニ考ヘラレル、且ツ小製造家ト云フモノハ、參考書ヲ御覽下サイマス、分リマスガ、年々減ッテ參リマス、即チ十万蛾以上ト云フモノハ丁度三千五百枚以上ノ製造ニ當リマスガ、是等ノモノガ少シジ、殖エテ參リマス傾向ガアリマス、先ヅ一步ヲ進メルト云フコトヲシナクテモ、自然サウ云フ風ニ行クト云フ傾向ガアルノデアリマス、此際、非常ニ苦痛デアルト云フ當業者ノ意見デアレバ、積極的ニ一步ヲ進メルト云フコトハ、其方面ニ於テハ差控ヘテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ相談ガ大臣ナドニアリマシテ、此方ハ法律關係デナイケレドモ、省ノ關係トシテ先ヅ差控ヘルコトニシテ、議員ノ意見ヲ尊重スルト云フコトニシテヤッテ見タラドウデアラウカ、斯ウ云フ風ニ大體話ヲ付ケテ居ルノデアリマス、其問題デ政務官カラ衆議院ニ於ケル各員ノ御意嚮ハ尊重ヲ致シテ考慮ヲ致シマセウ、ト云フコトノ聲明ヲ致シタノデ、問題ハ消滅シタヤウナ形デアリマス、之ヲ斯ノ如キ制限ヲ致スコトヲ省令デ致スコトハ不穩當デモアラウ、法律デ致ス方ガ宜イデハナイカ、是ハ法理上御尤モナ御考ダト考ヘマス、例ヘ

バ酒造税法ノ如キハ製造規模ニ付テ何石ト云フ制限ヲ法律ガ書イテ居リマス、此方デ行クノガ正當デアルト云フ御意見ハ確カニ有力ナル御意見ト考ヘマス、唯、四十四年ニ制定ニナリマシタ蠶絲業法、是ハ其時マデ養蠶者ガ勝手ニ自分デ以テ自分ノ所デ掃ク種ヲ拵ヘルコトガ出來タノヲ、全然禁止シテシマヒマシテ、サウシテ蠶種製造業者ト云フモノハ免許營業ニスル、斯ウ云フコトニ致シタノデゴザイマスガ、其際ニ總テノ免許ノ條件ト云フモノヲ行政廳ノ裁量ニ一任シテシマッタ立法ニナツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、現今免許條件ト致シマシテ、製造量ニ相應スルダケノ設備ヲ持ッテ居ナクチャイカヌ、製造者ハドレダケノ學識ヲ持ッテ居ナクチャイカヌ、何年間ノ經驗ヲ持ッテ居ナクチャイカヌト云フヤウナコトモ、總テ免許モ内規ニ依ッテ決メテ居ル、施行規則ニ依ッテ決メラレテ居ル、斯ウ云々、立テ方ニナツテ居リマス、デアリマスカラ、此立テ方ニ依リマスル法律ガ出來テ居ル以上ハ、矢張り規模ノ制限モ其他ノ資格條件ト同ジヤウニ命令ヲ以テヤルト云フ方法ヲ取ルコトガ出來ルノデアリマス、サウシテ又ソレガ今マデノ系統ヲ逐ッタ遣リ方デアアルノデアリマス、ソコデサウ云フ風ニ省令デ之ヲヤラウト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、法律ノ立テ方ヲ元ニ戻シマシテ、サ

ウ云フ制限ハ法律デアルベキデアアル、斯ウ云フ御議論ハ根本論ト致シマシテハ確ニ理由ノアル御主張デアルト考ヘマス、ソレカラ蠶絲業法ノヤウナ立テ方モ、舊來ノ法律ニ幾ツモアルノデアリマス、例ヘバ「トロール」船ノ免許ノ如キハ、噸數ノ制限ト云々、タヤウナモノ、或ル一種ノ規模ノ制限、サウ云々、タヤウナモノハ省令ヲ以テヤッテ居ル、農商務省時代ノ法律ニハゴザイマス、是ハ同ジ系統ニ屬シテ居ルヤウナ立テ方帶來テ居ルノデアリマス、現行法ノ立テ方ノ下ニ於キマシテハ、矢張り省令デアルコトモ不可能デナイノデ、又其道ガ今マデノ順序ヲ逐ッタ遣リ方デアアル、斯ウ云フ考デ制限問題ヲ省令デ解決ヲシヤウ、斯ウ考ヘテ居、タ次第デアリマス、併シ其問題ハ今申上ゲタヤウニ特ニ二步ヲ進メルト云フコトハ能ク考慮シテ議員ノ意見ヲ尊重イタサウト云フコトニナツテ居リマスノデモウ問題ハ解決シタヤウナ話ニナリマシタ

○坂田貞君　チヨット伺ヒタイ、或ル人ノ話デハ矢張り今ノ問題デアアルガ、規模ノ大キイ蠶種製造家デモ、事實ハ小サイモノニ分ケテヤラシテ居ル、所謂下請ケノ如キ形デヤラシテ居ル方ガ多イカラ同ジコトデヤナイカ、ト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル者ガアリマスガ、ソレハ事實デゴザイマセウカ

○政府委員(石黒鷲君)　分場ノ飼育トソ

レヲ稱シマスノデ、其分場飼育ト云フヤリ
方ハ長所短所共ニアルノデアリマス、併ナ
ガラ私共ノ見テ居リマス所デハ、長所ノ
方ガ短所ヲ補テ餘リアラウト考ヘテ居リ
マス、御承知ノ通りニ飼育ニ付テハ可ナリ
周密ナ注意ガ要ルノデアリマシテ、ソレヲ
分擔的ニ持テ十分ノ注意ヲ以テヤルト云
フコトハ、飼育上ニハ宜カラウト考ヘテ居
リマス、又氣候ノ點ダノ色ミノ點カラ申シ
マシテモ、大變有利ナ場合ガアラウト思ヒ
マス、ソレナラバ小サイモノガヤテ居ルノ
トドウ云フ違ガアルカ、此點ニナリマス、
小サナ規模ノ營業者デアリマス、分場ダ
ケガ一ツノ獨立ノ營業ニナルノデアリマ
ス、ソコデ出來上ッタモノハ收支ノ關係上
無駄ナク皆賣却ヲシナケレバ算盤ガ採レヌ
ト云フヤウナコトニナル、サウ致シマス
多少意ニ滿タナイモノデモ、矢張りハ販
賣ヲ致シマセヌト云フト、金ニナリマセヌ
ト云フヤウナ、其處ニ無理ガ來マス、又小
サナ營業者デアリマスルト云フト、今年ハ甲
ノ地方ヘ賣テシマフ、來年ハ又賣口ヲ變
ヘテ乙ノ地方ヘ行テ賣ルト云フヤウニ轉
轉イタシマシテ、サウシテ餘リ良イモノデ
ナイモノモ其年賣捌イテシマヘバ宜イ、又
全部賣捌イテシマハナケレバナラヌト云フ
ヤウナ、經營上必要ガ出テ來ル、所ガ分場
飼育ニナッテ參リマスト大量デアリマス、飼

育ハ方々ニ分レマスケレドモ、經營主體ハ大
キイノデアリマスカラ、其内意ニ滿タタモ
ノヲ外ヘ賣出シ、アトノモノハ絲繭ニ引イ
テシマフト云フヤウナヤリ口ガ出來ル、
又賣却ニ付キマシテモ、自己ノ名前ト云フ
モノガ相當大キイノデアリマスカラ、甲ノ
地方デ今年賣テ來年乙ノ地方ヘ行クト云
フヤウナ、喰ハセルト云フヤウナヤリ方ハ
到底出來ヌコトデアリマス、ソコイラカラ、
飼育ニ付テハ成程同ジヤウデアリマスガ、
農家ニ賣出シマスル蠶種ノ良否ト云フコト
ニ付テハ、餘程違ヒガアルヤウニ思フノデア
リマス、其點ガ著シイ違ヒダト思ヒマス
○菊池恭三君　チヨット御伺ヒ致シマスガ、
今検査ハ簡單デアルヤウニ考ヘマシタガ、
是ハ寧ろ自己ノ責任ガ重クナルノデ其方ガ
改良ト云フコトニハ宜イヤウニ考ヘマス、
此伊太利ノ蠶種ハ日本ニ來テ非常ニ良イヤ
ウニ承テ居リマスガ、アレハドウ云フ譯デ
アリマスカ、マダ其處迄日本ガ進歩イタシ
マセヌノデスカ、ドウ云フ譯デアリマスカ
○委員長(今井五介君)　御異議ガナケレバ
明石技師ヨリ……
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○説明員(明石弘君)　私カラ御答ヘ致シマ
ス、現在ニ於キマシテハ、伊太利ノ蠶種ガ
特ニ我國ニ出來マスル種ヨリモ著シク良イ
ト云フ程ノ違ヒハナイヤウニ思ヒマス、我

國ノ種モ近年ハ非常ニ品種ニ於キマシテモ
製造法ニ於キマシテモ良クナリマシタノ
デ、大シテ劣テ居ルトハ思ヒマセヌ、併ナ
ガラ伊太利ニ於テ有名ナ蠶種製造者ノ造リ
マシタモノハ、ナカ―良イモノガアルノ
デアリマス、伊太利デハドウ云フ風ニシテ
造テ居ルカト申シマスルト、只今御質問ニ
ナリマシタヤウナ分場飼育ノ制度デヤッテ
居リマス、蠶種製造者ハ大規模ニ經營イタ
シマシテ、殊ニ法律ヲ以テ矢張り數量的制
限ヲ置カレテアリマシテ、相當多量ノモノ
ヲ生産スル者ニ限テ蠶種製造ヲ許可セラ
レル、其大規模ノ經營者ハ氣候ノ適當イタ
シマス地方ニ多數ノ飼畜分場ガアリマシ
テ、其處デ蠶ヲ飼ヒ、其繭ヲ集メテ蠶種ヲ
製造スル、而モ其蠶種製造ノ設備ハ完全ニ
整テ居リマシテ、検査ノ方法等ニ付キマシ
テモ無論自分デ造ッタ種ニ付テハ自己デ檢
査ヲ致シマス、尙ホ其他ノ設備ニ付キマシ
テモ、規模ノ大キイモノハ結局整テ居リ
マシテ、是等ノ關係ニ於キマシテ從來ハ伊
太利蠶種ノ聲價ト云フモノハ可ナリ高ク、
我國ノ種以上ニ認メラレテ居タト云フ次
第デアリマス、大體伊太利ニ於ケル蠶種製
造ノ模様ハ左様ナコトデアリマス
○菊池恭三君　日本ノ蠶種ハ海外ニ輸出シ
テ居ルヤウニ聞キマスガ、ソレハ事實デア
リマスカ、先年私ハ或ル蠶種製造家ニ聞キマ

シタ時ニ、外國ヘ出ル、併ナガラ日本ノ蠶
種ハ大變惡イコトヲシテ粟粒ナドヲヒツ
ケテ交ゼテ輸出スルト言テ居リマス、サウ
云フコトガ有ルデスカ無イデスカ、サウ云
フコトガアレバ所謂官廳ノ監督ガ足ラヌト
云フコトニナリマスガ、ソレハドウデスカ
○政府委員(石黒忠篤君)　御話ノヤウニ
我國カラ蠶種ノ輸出ガ非常ニアリマシタコ
トハ、明治ノ初年ニゴザイマス、其際ニハ
大分今ノ「イカサマ」ノモノガアッタヤウ
デアリマス、餘程古イコトデ、又出シ過ギ
テ値段ガ落チルト云フヤウナ、一時ニ集マ
リ過ギタト云フヤウナコトデ、横濱邊リニ
於テ種紙ヲ焼イタナント云フコトモ有タ
ヤウデアリマスガ、其時代ニハサウ云フコ
トガゴザイマシタ、只今ハ蠶種ノ輸移出ト
云フモノハ極メテ少ナイ、移出ノ方ハ朝鮮
邊リヘ出スノハ少シアリマス、輸出ハ殆ド
無イ、多少夏秋蠶ノ種……伊太利邊リガ
御承知ノ大イニ又蠶業ヲ復興シヤウト云フ
計畫ガゴザイマスノデ、向ウニハ夏秋蠶ハ
發達シテ居リマセヌ、是ハ日本ノ特別ノ發
達デアリマス、此意味デ夏秋蠶ノ種ヲ少量
ニコチラカラ持テ行クト云フヤウナ實情
ハゴザイマス、今日ノ所デハ大シタ輸出ハ
ゴザイマセヌ、僅カ向ウカラ這入ッテ參リ
マスル種ガアリマスガ、ソレト殆ドトシ
トシデゴザイマシテ、兩者共極メテ少ナイ

ノデアリマス

○子爵西大路吉光君 モウ餘リ御質問モナイト思ヒマスカラ、先ニ進ンデ此絲價安定

融資補償案ノ説明ヲ逐條ニ付テオ願ヒ致シ

タイト思ヒマス

○委員長(今井五介君) 如何デセウ

○菊池恭三君 此法ヲ片付ケテシマッテハ

ドウデスカ、私ハ其方ガ宜イト思ヒマス

○委員長(今井五介君) ソレデハ蠶絲業法

中改正法律案ノ方ヲ片付ケテシマフコトニ

致シマス、大體質疑應答ノ結果ハ御丁解ヲ

得タヤウニ思ヒマスルガ一括シテ討論ニ入

リタイト思ヒマスガ如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(今井五介君) ドウゾ御意見ノア

ル方ハ願ヒマス

○尾崎元次郎君 本改正案ハ當局ノ御説明

ヲ伺ヒマシテモ極メテ適當ナル改正ト存ジ

マスルノデ原案ヲ全部賛成イタシマス

○菊池恭三君 私モ原案ニ賛成ヲ致シマス

○委員長(今井五介君) 御諮リヲ致シマ

ス、唯今、尾崎君ノ御説ニ對シテ御賛成モア

リマス、本案ニ對シテ別ニ御異議モ無イト

認メマス、ソレデハ可決決定ヲ致シマシタ

○委員長(今井五介君) 尙ホ時間モアリマ

スルノデ、引續イテ絲價安定融資補償法案

ニ付テ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、尤モ

昨日大體ノ御説明ガアリマシタガ、重ネテ

御要求デアレバ政府委員ニ説明ヲ願ヒマス

○菊池恭三君 私ハ昨日缺席ヲ致シマシタ

カラ、ドウゾサウ願ヒマス

○政府委員(石黒常篤君) ソレデハ絲價安

定融資補償法案ニ付テ御説明申上ゲマ

ス、大體御説明ハ大臣カラ申上ゲテゴザイ

マスガ、重要ナ條文ニ付テ御説明申上ゲル

方ガ宜カラウト思ヒマス、大體ノ説明ハ大

臣カラ申上ゲテアリマスマスヤウニ、只今ノ蠶

絲業ハ非常ニ重要ナ産業ニナッテ居ルケレ

ドモ、内容ヲ見ルト云フト色々所ニ幾多

缺陷ヲ存シテ居ル、全部ニ互ッテ根本的ノ改

善ヲ全クル必要ガ非常ニアルノデスカラ、

當局ニ於キマシテハ當業者ノ自發的ノ改善

ヲ折角促スト同時ニ、ソレニ對シテ適切ナ

ル對策ヲ講ズル爲ニ、又官ニ於テハ蠶絲委

員會ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ對策ヲ著々

成ルニ從ッテ實行シテ行ク、斯ウ云フヤリ方

デ行ッテ居ル、サウシテ此根本的改善ト云フ

コトハナカ一一朝一夕ニハ出來マセヌノ

デ、相當ノ時日ヲ假サナケレバナラス、其

間ニ於テ御承知ノ通りニ絲價ト云フモノハ

隨分變動ノヒドイノガ多クアリマス爲ニ、

ドンナ打撃ヲ蒙ラヌトモ限ラナイ、此絲價

ノ騰落ノ著シイト云フコトガ、一方カラ申

スト云フト蠶絲業……養蠶ニ致シマシテ

モ、亦製絲業ハ尙更ノコト、蠶絲關係ノ各

事業ニ於テ非常ニ投機的……謂ハハ投機的

性質ヲ帶ビサセルヤウニナッテ來テ居ルト

云フ遺憾ガアル、小サナ變動ト云フモノハ

是ハ止ムヲ得ヌデアリマスガ、數年ニ一

度ヤッテ來ル所ノ非常ナル打撃ヲ持テ來タ

スト云フヤウナ變動ハ出來ルダケハ是ハ避ケ

ナケレバナラス、是ハ歷代ノ内閣ニ於テサ

ウ云フ激變ノ場合ニ於テハソレト唯今マ

デ臨時ノ措置ヲ取ッテ參ッタデアリマス、

大正三年ノ戰爭勃發ノ場合ノ大變動、大正

九年ノ戰爭以後ノ大變動、此ノ場合ニ於テ

ハ四千圓臺カラ一千圓臺マデ下ッタト云フ

ヤウナ大變動、此兩方ニ對シマシテハ、政

府ガ直接ニ財政的ノ出動ヲ致シテ絲價ノ救

濟ヲヤリマシタ、其後大正十五年、昭和二

年、此變動ハ前二回程大キナモノデヤゴザ

イマセヌケレドモ、併ナガラ現今ノ蠶絲業

ノ狀態ハ大震災以來、燒絲ノ大打撃ヲ蒙ッ

テ、又最近ニ人造絹絲ノ發達ニ伴ヒマシテ、

消費量ノ壓迫ハ蒙ッテヤ居リマセヌケレド

モ、價格ノ上ノ壓迫ハ知ラヌ間ニ隨分ヒド

ク壓迫ヲ受ケテ居ルヤウナ次第デ、ナカナ

カ製絲業者ノ立場ト云フモノハ困難デアル、

從テ養蠶業者モソレガ爲ニ困難ヲ感ジテ居

ルヤウナ事情デアル、ソレデ大正十五年、

昭和二年ノ絲價低落ト云フモノハ前程エラ

イモノデアリマセヌガ、隨分ヒドクコタ

ヘタ、ソレガ爲ニ政府ノ出動ヲ要求サレタ

ノデアリマスガ、ソコ迄ニ至ラズシテ、政

府ハ金融業者ニ口添ヘテ致シマシテ、當業

者ノ團結ニ依リマシテ兩年共ニ危機ヲ切抜

ケテ來テ居ッタデアリマス、サウ云フヤウ

ナコトガ、ヒドイ程度ノモノガ此根本改善

ヲヤッテ居ル間ニ參リマスト云フト、改善ノ

中途デ以テ蠶絲業自體ガ根本カラ覆ヘサレ

テシマウト云フヤウナコトニナッタラ誠ニ

遺憾デアリマスノデ、暫クノ間、改善ノ略、

成ル迄ノ間ト云フモノハ何等カノ急ニ應ズ

ル施設ト云フモノヲ常備シテ置イテ、ソレ

デ安心サセルコトガ根本改善ヲヤル一ツノ

出發點ノ重要ナ事項デアラウト、斯ウ考ヘ

ルノデ、左様ナコトデアリマスカラ、臨時ニ

國家ノ發動ヲ致シマスマスヤウナ必要ノアル場

合ハデス、直チニ動ケルヤウニ、臨時的ノ施

設デアリマスガ、ソレヲ不斷カラ備ヘテ

置ク、詰リ啣同ヲ不斷カラ用意ヲシテ置ク、

斯ウ云フノガ此案ノ骨子デアリマス、ソレ

デ輕々ニ此發動ハ致サヌ積リデ居リマス、

併ナガラ之ヲ常備スルコトガ安定ノ上ニ於

テ非常ニ必要デアル、斯ウ考ヘルノデアリ

マス、サウシテ其ヤリ方ハ、ソレデヤドウ

スルカト云フコトニナリマスルト、過去ノ

大正三年及九年ノ場合ニ於キマシテハ、民

間ニ生絲ノ買上會社ガ出來マシテ、而シテソ

レノ買上デニ對シマシテ、政府ガ助成金ヲ

出シテ、或ハ資金ノ融通ヲスル、或ハ資金

ノ融通ヲスル銀行ニ對シテ損失ノ補償ノ契

約ヲスルト云フヤリ方デ參ッテ來テ居ッタノ
デアリマス、ソレガ段々亞米利加ノ市場……
亞米利加ハ御承知ノ通り我國ノ輸出生絲ノ
九割マデハ今日一手デ消費ヲシテ居リマ
ス、其亞米利加ノ市場ハ御承知ノ通りニ、
生産國ノ政府ガ其生産物ニ對シテ特殊ノ保
護施設ヲスルモノニ向ッテハ、好意ヲ以テ迎
ヘテ居ラナイ、日本ノ生絲ナドニ付テモ可
ナリ注目ヲシテ居ル、國際商業委員會ト云
フヤウナモノガ「レポート」ヲ出シテ居ルト
云フヤウナ、如何ニモ生絲ニ對シテハ注目
ヲ致シテ居リマス、ト云フ次第デアリマシ
テ、前申シマヌヤウニ、政府援助ノ下ニ、
買取會社ヲ援助スルト云フコトハ、敏感ニ
響ク、デ金融財政方面ニ極メテ關係ノ厚イ、
米國ノ經濟家ガ參リマシタ際ノ如キモ、其
點ナドニ付テ大分注意ヲシテ參ッタ、故ニ今
回ノ案ハ買取會社ヲ直接援助スルト云、ク
ヤウナコトヲ避ケマシテ、今マデノ絲價救
濟ヲ必要トスル場合ヲ能ク検査ヲシテ見マ
スルト云フト、當業者ノ金融ナント云フヤ
ウナコトカラ賣急ギノ氣分ガ非常ニ濃厚ニ
ナッテ來テ、サウシテドシシ値ガ必要以上
ニ下ッテ來ルト云フノガアル、サウナリマス
ルト、云フト、益、金融ガ緊縮サレテシマフト
云フヤウナ事情ガアルノデアリマスカラ、其
際ニ思切ッテ潤澤ナ、サウシテ有利ナ金融ヲ
シテヤルコトニ依ッテ、當業者ノ賣急ギト云

フモノヲ手控ヘサセルト云フコトガ、一番
宜カラウ、其機關ト致シマシテハ、特設機
關ヲ設ケルト云フコトモ致サナイシ、買取
ト云フコトモ致サナイ、銀行カラ當業者ニ
對シテ豊富ナル、有利ナル金融ヲ特ニヤッ
テヤルト云フコトニ致シタイノデアリマ
ス、其際ニサウ云フ特別ノ金融ヲスルノニ
ハ、國家ガ、若シソレニ付テ損失ガアツタナ
バ、補償ヲシテヤルト云フコトヲ金融機關
ニ對シテ契約ヲスルト云フコトニ依ッテ、此
金融ヲ付ケテ行クト云フノガ、此案ノ骨子
デゴザイマス、デ一方國家ト致シテ此損失
ノ補償ヲヤッテヤルト云フ以上ハ、當業者タ
ル製絲家モ亦進ンデ其間ニ自分デ備ヘルコ
トヲ心掛ケネバナラヌ道德的ノ義務ガア
ル、ソレヲヤルガ宜カラウト云フコトヲ
茲デ勸誘ヲ致シマシテ、當業者ハ自ら進
デ本年ノ一月一日カラ千斤ニ付テ最低二十
五圓ノ積立金ヲ致サウト云フ約束ヲ致シテ
居ルノデアリマス、從來一欄ニ付テ一圓ノ
積立ヲヤッテ居ッタノデアリマス、其以外ニ
此特別積立ヲヤルト云フコトニナリマシ
テ、既ニ一月ニ於テハ横濱、神戸兩港ニ於
キマシテ、之ヲ實行シテ居リマス、其成績
ハ輸出生絲ノ殆ド全部ニ付テノ積立ノ完了
ヲ致シテ居リマスル實蹟ヲ示シテ居リマ
ス、デ之ヲ三千万圓ニ達スルマデ繼續ヲシ
ヤウト云フ約束ヲシテ居ルノデアリマス、

マダ實行ノ初メデアリマスカラ、一二ノ加
入ヲ致サヌ者モアルヤウデアリマスケレド
モ、是ハ段々加入セシメテ行キタイト思フ、
又當業者仲間ニ於テモ勸メルコトト信ジテ
居ル譯デアリマス、ソレカラ此法案ノ方ハ
蠶絲業法案ト違ヒマシテ、新シイ法案デア
リマシテ、可ナリ重要ナ點ガ多イノデアリ
マスカラ、御説明申上ゲルトスルト、相當
長クナルノデアリマスガ、先ヅ第一ニ申上
ゲナケレバナラヌノハ、安定策實行ノ時機
ハ如何ナル時機ニ於テ發動スルカ、此問題
デゴザイマス、是ハ法案ノ第一條ノ第一項
ガ長クラシク書イテアリマスカ、ソコガ示
シテ居ルヤウニ、生絲ノ價格ガ、内外ノ物
價ノ趨勢、爲替相場其他一般ノ狀況ニ照シ
テ考ヘテ、ソコニ格別何等ノ經濟上必要ノ
原因ガナイノニ拘ラズ、蠶絲業ニ特有ナ事
情、例ヘテ申シマヌレバ、製絲業者ガ一般
ニ資力薄弱デアル、サウ云フ事情ニ基キマ
シテ、金融ノ梗塞ヲ來シマシテ、サウシテ
絲ノ賣急ギガ來ル、ト云ッタヤウナ場合ニ
外ノ物價ヨリモ不自然ニ絲タゲガ下ガル、
低落ニ低落ヲ重ネテ、遂ニ製絲ノ原價ハ疾
クニ割ッテシマッテ、尙ホ其上ニモ低落ヲ告
ゲテ、サウシテ製絲業ノ存立ガ危クナル、
ト云ッタヤウナ程度ニナッタ場合、初メテ出
動ヲスル、斯ウ云フ譯デアリマス、故ニ低
落ガ來タカラ直グ出ルト云フ譯デアリマセ

ヌ、一般物價ガ非常ニ下ガルト云フ場合ニ、
ソレニ相應シテ絲ノ下ガルモノト云フモノ
ハ、是ハ救済スベキ限リデヤナイノデアリ
マス、又生産原價ヲ割ッテ、割ッテカラ直グ
ソレデヤ出動スルカ、是モ何營業ニ拘ラズ、
製産原價ヲ割ルト云フヤウナコトハ、是ハ
商賣上アリ得ルコトナノデアリマス、直ニ
出動スベキモノデモナカラウト思フ、唯ダ
生産原價ヲ割リマシテ、最早モウ製絲業ガ
中ニ救済ヲシナケレバ立行カヌト云フ程度
ハ、是ハ何人ガ見テモ相當ノ時機ト云フモ
ノハ分ルノデアリマス、其際ニ政府ハ絲價
委員會ト云フモノヲ特設ヲ致シマシテ、ソ
コデ嚴重ニ審査ヲイタシマシタ結果、出動
スベシト云フコトニナッテ、此安定等ノ實行
ノ期ニ入ルノデゴザイマス、ソレカラソレ
ナラバ次ニ其時期ニ入ッテノ特別ノ金融
ト云フコトハ、ドンナ風ニスルノデアルカ
ト云フコト、是ハ先キ申上ゲマシタヤウナ
特設機關ヲ設ケルト云フヤウナコトハ、米
國其他ノ輸出諸外國ニ對シマシテ大變ニ目
立ツコトデアリマスカラ避ケマシテ、一般
金融機關ト云フモノヲ利用ヲ致シマシテ、
豊富ナ金融ヲ付ケテ行カウ、ソノ銀行ニ對シ
テ特別金融ヲサセルモノデアリマス、其損
失ガ萬一アレバ補償シテヤル、此途ヲ付ケ
ル機關ト致シマシテハ、一般ノ銀行ヲシテ
當ラセル、特殊ノ銀行ニ制限ヲスルト云フ

コトモ致サヌコトニナッテ居ル、現今蠶絲金融ヲ致シマスル銀行ハ、京濱、京阪ニ大キナ銀行ガ相當數アリマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレ等ノ銀行ガ事實上「ツ」ノ「シンデケート」ノヤウナモノヲ拵ヘテ割合ヲ決メルト云フコトハ、是ハアリ得ルコトデアリ、又便宜デアラウト思ヒマスガ、法律ヲ以テ特殊銀行ニ限ルト云フヤウナコトハ此際ハヤラスト云フ方針ヲ執ツタノデアリマス、ソレハ一方ニ於キマシテ現今ノ蠶絲金融ニ當テ居リマスル銀行ト云フモノハ、相當之ニ重キヲ置イテ營業ヲヤツテ居リマスノデスカラ、其平常ノ營業關係ト云フモノヲ直チニ利用致サウ、又資金ノ調達等ニ付テモ、一ツノ銀行ヲ特定シテ置クト云フヤウナコトニナリマス、必ズソレニ對シテ何カ預金部カラ金ヲ融通シテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ必要ガアルノデスカレドモ、普通時ニ於キマシテ製絲金融ヲヤツテ居リマスル有力ナル數銀行デアリマスレバ、其時ノ金融狀況ニ於キマシテ、或ハ「コー」ルヲ利用スルトカ、色々ナコトデ資金ノ調達ハ、廣ク金融市場ニ求メルコトガ出來ル、ソレド尙足りナイ場合ニハ、特殊ノ政府ノ融資モ致サウト云フ風ニ、手廣クヤツテ置ク必要ガアラウト斯ウ考ヘマスノデ、銀行ト云フモノヲ法律上ハ特定ヲ致シテ居リマセヌ、ソレカラ尙ホ機關ニ充テマスノニ

ハ、後ノ方ノ十二條ニ書イテゴザイマス産業組合中央金庫、即チ所謂組合製絲ニ對スル金融中央機關デアリマス、是ハ銀行ト同視シテ、金融機關ノ中ニ入レルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、其銀行カラ特別ノ金融ヲ致スノデアリマスガ、其相手方ハ誰ガ金融ヲ受ケルカト、斯ウ云フ問題ニナリマスルト云フト、相手方ハ製絲業者デアリマス、無論其中ニハ産業組合製絲ヲ含ンデ居リマス、デ法案ノ中ニ生絲ノ製造ヲ爲ス者又ハ加工ヲ爲ス者ト云フコトガ書イテゴザイマスガ、加工ヲ爲スノハ何ダカ織物ヲヤルトカ、染織業者マデ這入ルヤウナ意味ニモ解セラレマスガ、サウ云フ意味デハゴザイマセヌ、「生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者」ト云フノハ、營業的ニ製絲業ヲ營ンデ居ル者、及ビ産業組合製絲ト、斯ウ云フ意味デアリマシテ、産業組合製絲ノ聯合會ニナリマスルト、御承知ノ通りニ絲ヲ引キマシタ後トヲ、大粹ニ揚返シヲ致シマス、アレダケヲヤツテ居ル聯合會ガゴザイマス、又之ヲ束ネマシテ束裝ヲ致シマス、ソコ迄ヤツテ居ル聯合會モゴザイマス、聯合會ノ事業ト云フモノハ製絲自體ヲヤルノデハナクシテ、揚返シ、束裝ト云フモノヲヤツテ居ル者ガアリマス、サウ云フモノヲ現ハスニハドウモ加工ト云フ文字ヲ用キルヨリ仕方ガナイノデアリマス、其意味デ這入ッテ居リマ

ス、是ハナチヨット誤解ガアルトイケマセヌカラ申上ゲテ置キマス、要スルニ製絲業者ト産業組合製絲ガ借入ノ相手方ニナルノデアリマス、其以外ニ於テ多少ノ例外トイタシマシテ、一條ノ二項ニ、生絲ノ問屋、ソレカラ主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經テ適當ト認ムル者ト云フモノハ、銀行カラ此種ノ特別金融ヲ受ケ得ルコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ御承知ノ通りニ横濱神戸ノ生絲賣込問屋ト云フモノハ、委託販賣ヲ致シマス外ニ、現今ニ於キマシテハ製絲業者ニ對シマスル金融ノ機關ニナッテ居リマス、明治初年カラノ發達ノ経路ヲ見マスルト云フト、アレハ元々荷爲替ニ付テノ手形ノ行爲ヲヤル中心デアッタヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレガ現今マデ續キマシテ、製絲業者ニ對スル一ツノアレハ金融機關ニナッテ居ルノデアリマス、此機關ヲヤハリ利用スルト云フコトノ、必要ガアルノデアリマス、勿論生絲金融機關ノ整理ト云フコトニ付キマシテハ、最早問屋業ヲ何時迄モ生絲金融機關トスルコトハ考ヘ物デアルト思ヒマスガ、其整理問題ト、今アルモノヲ動かシテ臨時ノ施設ヲスルト云フコトハ切離シテ考ヘナケレバイカヌト云フ考デアリマシテ、今アル機關ヲ其儘ニ利用イタサウト云フノガ、問屋ヲ入レマシタ譯デアリマス、ソレカラ尙ホ主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經

テ適當ト認ムル者ト云フモノハドウ云フモノデアルカ、是ハ書イテアリマス通りニ、其場合、其場合ニ絲價委員會デ以テ御決定ニナルノデアリマスケレドモ當局ノ想像シテ居リマスル一二ノ例ハ、當業者ガ團結ヲ致シマシテ、全ク官ノ力ヲ借リズニ、只今帝國蠶絲會社ト云フモノガ出來テ居リマス、當業者ノ積立金ノ利用ヲ致シマシテ、五百萬圓ノ會社ガ出來テ居リマス、當業者ノ自治團體デアリマス、此會社ノ如キ、或ハ産業組合製絲ノ販賣ノ聯合會ガ横濱ニ出來テ居リマス、是ガ問屋ト同ジヤウナ仕事ヲシテ居リマス、是ノ如キモノハ、其必要ヲ其時ニ認メマスナラバ、或ハ開イテ行クベキ機關デナカラウカ、斯ウ考ヘタノデアリマス、當然ニ是迄及ブト云フコトニ致シテ居リマセヌノデ、委員會デ適當ト認メタナラバ開キ得ルト云フ途ヲ茲ニ一ツ付ケテ置イタノデアリマス、ソレ等ノモノガ此特別融通ヲ銀行カラ受ケ得ル相手方トシテ認メラレテ居ルノデアリマス、實際ノ運用ニ當リマシテハ、製絲業者其外ノ相手方タルベキ當業者ガ、茲ニ又事實上ノ一ツノ團結ヲ造リマシテ、自治的ニ幾割カヅツノ生絲ヲ、此特別金融ヲ受ケテ、少クトモ一人前幾ラノ生絲ヲ擔保ニ依ッテ賣リ控ヘヤウデヤナイカト云フヤウナ相談ハ事實起ルコトト思ヒマス、必要ガナケレバ起リマセヌ

ガ、事實ハ起リ得ルドラウト思ヒマス、サ
ウ云フコトハ成ルベク當業者ノ自由ニ委セ
タイ、自治ニ委セタイ、法律ガ規定ヲ以テ
干涉スルト云々タウナコトハ致シタクナ
イ、斯ウ云フ立テ方ニナッテ居ルノデアリ
マス、ソレデヤ融通ノ條件ハドウ云フ風ニ
スルカト云フコトデアリマスルガ、是ハ低
落ニ低落ヲ重ネタ際ニ、其融通ニ依ッテ投資
ヲ防止ヲスルト、斯ウ云フノデアリマスカ
ラ、其當時ノ絲價ニハ不相應ナ潤澤ナ金ヲ
貸サナクテハイカヌシ、又相當有利ナ條件
デ貸付ケナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ
ナルノデアリマス、デ融通ノ條件ハサウ云
フ主義ノ下ニ於テ、絲價委員會デ其時々々
ニ極ク適應シタ實效ノアリサウナ生キタ
決定ヲシテ、農林大臣ガソレニ依ッテ命令ヲ
スル、斯ウ云フコトニナリマス、融通ノ金
額ハ、恐ラク其當時維持ヲシナケレバナラ
ヌト云フ必要ナル絲價ガ極マリマセウト思
ヒマスルカラ、ソレヲ全額ヲ擔保價格ト見
做シマシテ、サウシテソレダケノ貸付ハヤ
テヤラナケレバ、投資ヲ控ヘサセルダケノ
效力ハナカラウト思ヒマス、從ッテ時價ノ満
掛若クハ以上ニ貸付金ヲスルト云フコトガ
アリ得ルコトト考ヘルノデアリマス、利率
ハ是亦成ルベク安クシナケレバナラヌノデ
アリマス、前ニ當業者ノ自治的ニ共同保管
ヲヤリマシタ大正十五年及ビ昭和二年ノ實

例ニ依リマスルト云フト、成ルベク低利ニ
ト云フコトヲ銀行ニ交渉シタノデアリマス
ガ、其場合ニハ國債擔保ノ手形ノ割引利率
ト同ジカッタト記憶イタシテ居リマスルガ、
出來ルナラバデス商業手形ニ對シマシテ、
日銀ガ最低割引率ヲヤリマスル歩合位ノ程度
マデノ低利ノ貸付ニサセタイト云フヤウナ
希望ヲ持ッテ居リマス、是等ノ利率モ其時期
ニ應ジマシテ、適當ナル所ヲ絲價委員會デ
ハ決定イタスコトナッテ居ルノデアリマ
ス、貸付ノ期間デアリマスガ、此貸付ノ期
間ハ安定策ノ實行ヲ必要トスル期間中ハ繼
續ヲサセル必要ガアル、其期間内ニ銀行ガ
勝手ニ回收スルコトノ出來ルヤウナ短期ニ
決メテ置クト云フヤウナコトニナリマスル
ト、是ハ中ニ投資リヲ必要程度ニ控ヘサセ
ルマデニハ行キマセヌカラ、ソレハ適當期
間ヲ貸付條件ト致シマシテ、銀行ニ命ズル
コトニナラウト思ヒマス、次ニ擔保デアリ
マスルガ、擔保ハ必ズ生絲ノ倉庫證券ヲ擔保
ト致シテ貸付ケル、斯ウ云フコトニ致スノ
デアリマス、其生絲ノ品質ニ應ズル貸付ヲ
スルヤウニ、品質ノ検査、量目ノ検査ト云フ
モノニ付キマシテハ、出來ルダケノ詳細ナ
ル、審査ヲサセルヤウニ致シタイト思ヒマ
ス、尤モ此品質ノ方ニ付キマシテハ、只今
生絲擔保金融ト云フモノハ、上品モ下品モ
一樣ニ行ナッテ居リマスガ、中ニ是ハ精細ナ

品質ニ應ジタ金額ノ貸付ニハ參ッテ居リマ
セヌガ、行クノハ成ルベクサウ云フ風ニ
致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、貸付ノ
形式ハ手形割引ノ方法ヲ以テヤッテ參リマ
シテ、倉庫證券付ノ手形ノ割引ト云フコト
デヤッテ行クノガ一番精確デアリ、而モ其
振出ハ必ズ製絲家ノ振出手形ト云フコトニ
限リタイ、斯ウ云フ考デアリマス、問屋ニ
對スル融通ト云フコトヲ先程一條ノ所申
上ゲマシタガ、是ハ問屋ガ買取り販賣ヲ致
シマスル金融ヲ付ケケタルノデヤナイノデ
アリマス、問屋ヲ中間ノ一ツノ金融機關ト
見テ居ルノデアリマスカラ、從ッテ此金融ハ
製絲家自體ノ金融難ヲ救フト云フノガ眼目
デアリマスカラ、ドウシテモ製絲家ノ手ニ
渡ル金融ヲ付ケルヤウニ、出來ルダケノ注
意ヲ拂ハナケレバナラヌ、故ニ問屋ニ貸付
ヲ致シマスル際ニモ、製絲家振出ノモノニ
對シテ問屋ガ裏書ヲスルト云フコトニ限ッ
テ貸出シヲスルト云フコトデ、結局ノ金融
ハ製絲家ニ行クト云フコトニ努メタイ、斯
ウ考ヘテ居ルノデアリマス、最後ニ取立テ
ノ問題デアリマス、政府ハ銀行ニ對シマシ
テ斯様ナ特別金融ヲ致シマスルナラバ、ソ
レニ依ッテ損害ガ起タナラバ補償シテヤル
ト云フ契約ヲシテ、安心ヲサセテ貸出シヲ
サセルノデアリマケスレドモ、政府ガ補償
シテヤッテモ、銀行ニ對スル製絲家ノ債務ト

云フモノハソレガ爲メ消エル譯ノモノデヤ
ナイノデ、銀行ハ依然トシテ債權者ニナッテ
居リマスカラ、其取立テハ嚴重ニサセマシ
テ、サウシテ債權ヲ勝手ニ拋棄スルト云フ
ヤウナコトハサセヌ積リデ居リマス、併ナ
ガラ之ヲ取立テマスル銀行ト致シテハ、政
府カラ損失補償ヲ受ケ、而モ債權ヲ取立テ
アリマスカラ、取立テタル債權ハ政府ヘ後
トニ於テ納付ヲサセル、斯ウ云フコトニシ
テ行クノデアリマス、只茲ニ取立テト云フ
モノヲ斯様ニシテヤッテ行タナラバ製絲家
ノ破産ト云フコトヲ免レテ取立テガ出來ル
カト云フ所ニ注意ヲシナケレバナラヌノデ
アリマス、而モ暴落シタ其際ニ於テ救済ヲ
シテ居ル後トノ長イ期間ニ至リマシテ、輸
出港ニ出シテ來ルモノカラ幾分カヅツ仕切
デ差引イテ、サウシテ取立テニ充テルト云
フ方法ガ一番宜イノデアルト云フノデ、此
便宜ノ爲ニ問屋等ノ販賣機關ニ對シマシテ
取立上ノ手傳ヲサセルコトノ規定ヲ設ケテ
居ルノデアリマス、斯様ニシテ參リマシタ
ナラバ、製絲家ト云フモノハ倒レルト云フ
危機ヲ救ハレテ、其後ニ於テ漸次ニ返済ヲ
シテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フ立前ニナ
テ居ルノデアリマス、當該時期ニ於ケル銀
行ノ融通資金ノ總額デアリマスガ、此融通
額ハ是ハ必シモ三千万圓ト云フノデヤナ

イ、三千万圓ハ損失補償額ノ總額デ、從ッテ損失補償額ニ依リマシテソレ以上ニ幾倍カノ融通額ト云フモノガ決マル譯デアリマス、自カラソレニ依ッテ決マルベキモノト考ヘルノデアリマス、ソレカラ政府ハ是等ニ對シマシテ嚴重ノ監督ヲ致ス途ヲ設ケテ居ルノデアリマス、是ダケガ融通ニ付テノ要項デアリマス、後トニ殘ッテ居リマス問題ト致シテハ損失ノ補償ノ問題、補助金額ノ問題、期間ノ問題、取立テノ問題、生絲擔保處分ノ問題ト云フヤウナコトガ、殘ッテ居リマス
○委員長(今井五介君) ソレデハ此程度デ打切リマシテ散會イタシマス、何レ又彙報ヲ以テ申上ゲマス

午後零時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長

今井 五介君

副委員長

尾崎元次郎君

委員

子爵西大路吉光君

菊池 恭三君

坂田 貞君

横山 章君

田中 一馬君

政府委員

農林省蠶絲局長 石黑 忠篤君

説明員

農林技師 明石 弘君